

先生各位

検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の項目におきまして、検査内容を変更させていただきますのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《変更日》 平成 25 年 6 月 10 日(月)受付分より

《変更内容》

2013年 総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.128	7243	HPV-DNA 16型、18型、 他ハイリスク型	項目名称	HPV-DNA 16型、18型、 他ハイリスク型	HPV-DNA 定性 ハイリスク型
			検査方法	PCR法 (リアルタイムPCR法)	PCR法
			基準値	コード：7879 16型：陰性 コード：7880 18型：陰性 コード：7881 他ハイリスク型：陰性 各コードにそれぞれ の結果が入ります。	陰性
			備考	14種類のハイリスク 型 HPV を検出(注2) (注2)検出可能な型 は16、18、31、33、 35、39、45、51、 52、56、58、59、 66、68型です。16 型と18型の同定(型 判別)は可能ですが、 その他12種類の同定 は出来ません。	13種類のハイリスク 型 HPV を検出(注2) (注2)検出可能な型 は16、18、31、33、 35、39、45、51、 52、56、58、59、 68型です。(型判別は 出来ません)
			保険収載 名称	HPV 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)	HPV 核酸検出

その他の検査内容に変更はございません。

《 変更理由 》 改良試薬への変更のため

《 解 説 》

本検査は、現行の PCR 法からリアルタイム PCR 法へと試薬が改良され、従来の 13 種類に 66 型を加えた 14 種類のハイリスク HPV (16、18、31、33、35、39、45、51、52、56、58、59、66、68) を一括検出します。特にリスクが高く、HPV ワクチンの予防対象でもある 16 型と 18 型の同定が可能であり、子宮頸がんに進展するリスクの層別化に有用であると考えられています。

《 備 考 》

婦人科細胞診との同時依頼時に実施する HPV (定性) 検査につきましても、同様に変更致します。

婦人科細胞診の結果が「ASC-US」時に自動追加される依頼の場合は、HPV (定性) 検査が自動追加された日に基づいて変更となります。

《 相 関 》

		現行法		
		陽性	陰性	計
新法	陽性	86	5	91
	陰性	12	93	105
	計	98	98	196

一致率 91.3% (自社検討データ)

* 新法については、16 型、18 型、他ハイリスク型の結果を統合しています。